

A photograph of a river flowing through a dense forest. The water is a greenish-brown color, and the surrounding trees are lush and green. The scene is peaceful and natural.

2025年5月25日
5月第四主日礼拝式

182 あがめます全能の主

あがめます 全能(ぜんのう)の主
あなただけを
平和の主 あなたをしたいもとめる
心から ほめ歌ささげ
あがめます全能(ぜんのう)の主
あなただけを

8 マジスティ

神の小羊イエスに 栄光といきおいと
知恵と力と富と ほまれと賛美をささげよう
天の栄光のみ座の前に
みんな ひれふし あがめよう
全地のすべての民よ
十字架のみわざをたたえよう

新聖歌358番 「神なく望みなく」

- 1 神なく望みなく さ迷(まよ)いしわれも
救われて主をほむる 身とはせられたり
* われ知るかつては 目見えざりしが
目をひらかれ 神をほむ 今はかくも
- 2 かつては罪のため 心はくもりて
迷いしが今は目も 全(また)く開きたり * (くりかえし)
- 3 栄えの君(きみ)にます 主はわれにとりて
わが誇りわが望み またわがすべてぞ * (くりかえし)
- 4 なさばやこの一事(いちじ) 後(あと)のものの忘れ
先のものの望みつつ 勝利を得(う)るまで * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌458番 「光の高地(こうち)に」

1 光の高地に たむろせなる

主のつわものたち 身を備(そな)えよ

谷間にかくれて すきをうかごう

悪魔のてしたの 数は多し

* 信仰は勝利 信仰は勝利

信仰もて 世(よ)と悪魔に勝たん

2 御旗(みはた)は愛なり いざ掲げよ

剣(つるぎ)は聖書の 御言葉なり 昔の聖徒に

ならい進め 彼らは墓にも 手を引かせぬ *

【次】

新聖歌458番 「光の高地(こうち)に」

3 眠りむさぼりし 幕屋を出(い)で
武具(ぶぐ)に身を固め 敵地に行かん
救いのかぶとに 平和の靴(くつ)
正義の胸当て 真理の帯(おび)

* 信仰は勝利 信仰は勝利
信仰もて 世(よ)と悪魔に勝たん

4 勝つ者全てに 報いぞある 名前よばればな
御前に出でん 白き衣着て しゅろを取りて
主をたたえまつらん 声も高く *

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン